

2 学校・保育園・幼稚園における子どもの読書活動の推進

(1) 保育園・幼稚園における読書活動の推進

保育園・幼稚園で、読み聞かせや、おはなし会を通して、子どもが本に親しみ・楽しむ機会をつくり、子どもがいつでも自由に本にふれることができる環境を整えるよう努めていきます。

園児が本に親しむ環境の整備 【保育運営課】【教育・保育支援課】【教育指導課】【中央図書館】	
具体的 な取組	園文庫・図書コーナーの設置・充実
	市立図書館のリサイクル本制度を活用した読書環境の充実
	市立図書館の団体および特別貸出制度の利用の促進

園児が読書に親しむための機会の充実【保育運営課】【教育・保育支援課】【教育指導課】	
具体的 な取組	日常保育の中での読み聞かせの充実や、ボランティアによるおはなし会の実施
	家庭への絵本の貸出の実施
	保育士および教諭に対する研修の充実

保護者への啓発【保育運営課】【教育・保育支援課】【教育指導課】	
具体的 な取組	園行事や懇談会、園だより等を通しての啓発や情報提供の充実

市立図書館訪問の充実【保育運営課】【教育・保育支援課】【教育指導課】【中央図書館】	
具体的 な取組	園児が市立図書館を訪問する機会の充実（おはなし会・利用案内・図書の貸出）

(2) 小中学校における読書活動の推進 【重点取組】

児童生徒の興味・関心が広がるこの時期、楽しみとしての読書を推進する一方、教育の中での読書活動の充実を進めていきます。そのために学校図書館をより活性化して、学校図書館を活用した学習活動の充実を進めていきます。

魅力ある学校図書館づくり【教育指導課】【教職員課】	
具体的 な取組	学校図書館資料の充実
	蔵書情報のデータ化の検討
	学校司書の配置 拡充
	学校図書館ボランティア活動の推進
	ボランティア・図書委員会による所蔵図書の整理
	実践例を情報共有し魅力ある配架の推進
	専任の司書教諭の配置を県に要望
読書習慣を確立するための読書活動の推進【教育指導課】	
具体的 な取組	学校における「読書の時間」の奨励
	読書感想文・感想画コンクール、読書感想画展の開催
学校図書館に関わる職員に対する研修の充実【教育指導課】【教育研究所】	
具体的 な取組	学校司書・司書教諭の研修会・情報交換会の充実（経験に応じた研修の実施）
	読書活動推進のための教員研修の実施
	学校図書館を利活用した授業に関する研修の実施
学校と市立図書館の連携強化【中央図書館】【教育指導課】	
具体的 な取組	学校司書と市立図書館職員の情報交換および連携 新規
	ブックリスト配付の充実（利用される工夫、意義の啓発）
	授業での市立図書館資料の活用（市立図書館資料の利用方法の改善） 拡充
	学校と市立図書館間の図書配送便の実施 新規
	市立図書館訪問の充実（利用案内・図書の貸出等）
	市立図書館利用の促進

《参考資料3》

～小中学校の学校図書館の取組～

市立小学校には学校司書が配置されています。また、市内の多くの学校では、学校図書館ボランティアの協力を得ながら図書館の環境整備が進んでいます。さらに市としては、学校図書館を活用した授業の研修を行うなど、より良い学校図書館づくりに向けた取組を進めています。

<進められている環境づくり>



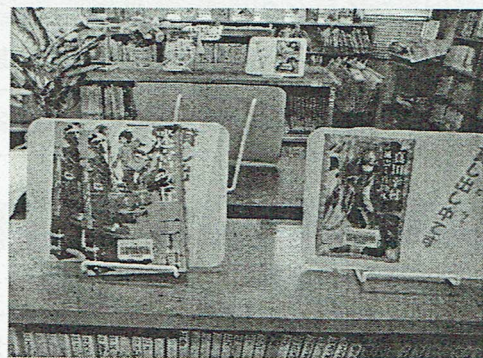
壁面を使ったわかりやすい表示



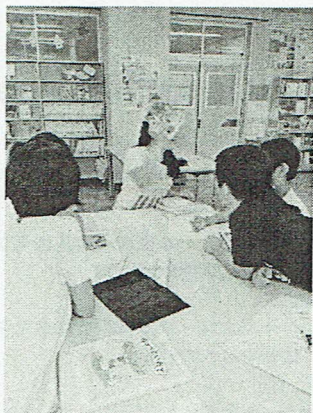
ボランティアによる図書館整備



低学年を対象とした読み聞かせ



本棚を活用したおすすめ本の紹介



子ども同士でビブリオバトル³

「図書館が好き」「図書館に行きたい」「好きな本を読みたい」「本を借りて、ゆっくり読みたい」…そんな子どもが増えてほしい。

「図書館に行けば知りたいことがわかる」「図書館に行くとホッとする（心が落ち着く）」「図書館が楽しい」そんな場所になることを目指します。

³ 発表者が読んで面白いと思った本を順番に紹介し、発表後に参加者同士でディスカッションした上で、「どの本が一番読みたくなったか」投票し、最多票を集めた本を『チャンピオン本』とする知的ゲーム。

(3) 高等学校における読書活動の推進

高校生は行動範囲が広がり、様々な分野に関心を持つ一方で、読書については個人差が出てくる時期です。この時期に読書離れが進まぬよう、高校生期のライフスタイルに合った進路や生き方のヒントになる本を充実させ、また学校図書館や市立図書館資料を活用した学習を進めていきます。

学校図書館の利用の促進【教育指導課】	
具体的な取組	新入生を対象としたガイダンスの実施

推薦図書リストの作成、公開【中央図書館】	
具体的な取組	学校（教員・生徒）作成の推薦図書リストを市立図書館に配架

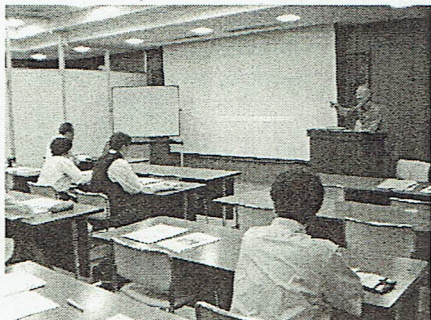
市立図書館資料の活用【中央図書館】	
具体的な取組	市立図書館の特別貸出の利用促進 拡充
	市立図書館の郷土資料による授業の実施

市立図書館利用の促進【中央図書館】	
具体的な取組	市立図書館利用案内の配付
	市立図書館を利用した高校生向け講座の実施

《参考資料4》

～市立図書館を利用した高校生向け講座の実施～

平成24年度から、市内に在学している高校生を対象とした夏季連携講座を市立横須賀総合高校と市立図書館の共催で実施しています。



- | | |
|------|-----------------------|
| 27年度 | 「三浦半島の文化 A」 |
| | 午前 ヴェルニー記念館・米軍横須賀基地見学 |
| | 午後 講座「横須賀製鉄所物語」 |
| 28年度 | 「三浦半島の文化 B」 |
| | 午前 ヴェルニー記念館・米軍横須賀基地見学 |
| | 午後 講座「観音崎灯台の建設」 |
| 29年度 | 「三浦半島の文化 C」 |
| | 午前 ヴェルニー記念館・戦艦三笠見学 |
| | 午後 講座「横須賀製鉄所物語」 |

(4) 特別支援学校における読書活動の推進

特別支援学校の子どもたちが、読書を楽しむことができるよう、子どもたちの発達の段階や特性に応じた読書活動を進めていきます。関連機関やボランティアと連携しながら、ニーズの多様性や資料の特殊性に合わせた取組を行います。

特別支援学校における読書環境の充実【支援教育課】	
具体的な取組	子どもの発達の段階や特性に応じた蔵書の充実
特別支援学校における本に親しむ機会の充実【支援教育課】	
具体的な取組	教員やボランティアによる読み聞かせ活動の推進
特別支援学校と市立図書館の連携強化【中央図書館】【支援教育課】	
具体的な取組	市立図書館訪問の充実（読み聞かせ・利用案内・図書の貸出等）
	市立図書館利用の促進

《参考資料5》

～子どもの発達の段階や特性に応じた読書について～

発達の段階や特性は、子ども一人一人によって異なります。子どもの読書活動を進める際に、このような工夫をすれば上手くゆくという唯一の解決策があるわけではありません。

全ての学校において、以下の対応等を組み合わせるとともに、子どもの特性に応じた取組を創出する努力が必要となります。

【子どもの特性に応じた対応の例】

- ・ルビ（読み仮名）付き図書
- ・手話を活用した読み聞かせ
- ・拡大コピーやテキストデータへの変換（平成22年1月1日：改正著作権法施行）
- ・対面朗読
- ・音声読書器、画面読み上げソフト、音訳図書
- ・点字図書
- ・マルチメディアDAISY図書⁴（参考文献：『一人ひとりの読書を支える学校図書館』野口武悟=編著 読書工房）

⁴ パソコンを使って使用する電子図書システム。文章や挿絵などを画面に表示するだけでなく、文章に対応した音声をハイライト表示させながら再生する。

3 関係機関・団体等における子どもの読書活動の推進

(1) 博物館・美術館等と連携した取組

市立博物館・市立美術館等の社会教育施設と市立図書館・学校等とが連携し、それぞれが持つ資料・人材を生かした取組を進めていきます。これにより、読書は苦手という子どもたちも関心を持つ講座の開催等に取り組んでいきます。

市立博物館と市立図書館の連携【博物館運営課】【中央図書館】	
具体的な取組	市立博物館と市立図書館の資料を活用した「わくわく「ムシ」たんけん」等の行事の実施

市立美術館と市立図書館の連携【美術館運営課】【中央図書館】	
具体的な取組	市立美術館での絵本原画展等の開催に合わせて、市立図書館で展示とブックリストを作成して配付

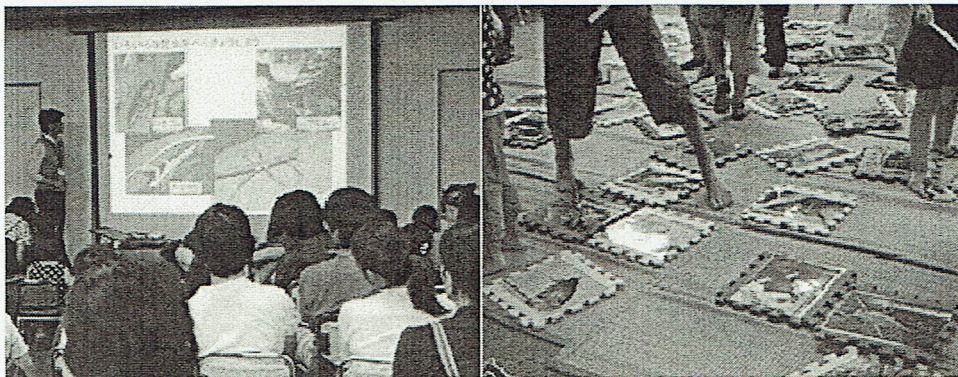
《参考資料6》

市立博物館と市立図書館の連携行事～「わくわく「ムシ」たんけん」～

児童図書館では、夏休みの行事として、「図書館で虫探し」をイメージし、未就学児から小学生を対象に図書館の利用方法を体験できるアクティビティを実施した。

【博物館学芸員】昆虫の標本やスライド写真を使って、身近な昆虫の生態を紹介する。

【子どもたち】釣りゲームで獲得した昆虫（カード）について、図書館の本を使って特徴などを調べる。



(2) 社会教育関係団体等と連携した取組

市内には、図書館や学校、コミュニティセンター等でおはなし会等の活動をするボランティア団体があります。図書館・学校をはじめとした関係機関においては、協働事業の推進を図り、支援の取組を充実させていきます。

子どもの読書に関わるボランティアの養成とともに、活動中のボランティアに対しても、技術向上のための講座や懇話会等を開催し、活動を支援していきます。

また、各種団体や企業等と連携して情報発信を図っていきます。

市立図書館ボランティアの活動支援【中央図書館】	
具体的な取組	児童サービス講座の開催
文庫の活動支援【中央図書館】	
具体的な取組	文庫連絡会と市立図書館との新刊ブックトーク ⁵ の共催(地域文庫への活動支援)
学校図書館ボランティアの養成【教育指導課】	
具体的な取組	学校図書館ボランティア養成講座の実施
各種団体や企業等との連携【中央図書館】	
具体的な取組	各種団体や企業等と連携した情報発信

《参考資料7》

～児童サービス講座の開催～

児童図書館では、平成3年度より、講師を招いての講演会、初心者向けの基礎講座、経験者向けの技術講座をそれぞれ1回、年間3回の児童サービス講座を開催しています。

対象は市内在住・在勤の16歳以上の、図書館・学校・地域のおはなし会等で、現在活動中のボランティア、または、ボランティア活動を希望している人、子どもの読書に関心のある大人などです。

平成29年度 第1回 浜田桂子「へいわってどんなこと」(作家講演会)

第2回 内藤直子「おはなし会を開くために」

第3回 菊地彰子「おはなしの豊かな世界」

⁵ 市立図書館職員が、新刊本を中心に、おすすめの本を紹介するイベント。

重点取組

平成30～33年度
(2018～2021年度)

第2次計画で重点取組とした小中学校における読書活動の推進は、小学校への学校司書の配置等により、一定の成果を上げました。

しかし、成果指標の数値は、小学生が幾分改善されているとはいえ、まだ全国調査の数値には、及ばない現状であります。

そのため、第3次計画では、家庭における読書活動の推進を重点取組に加えて、小中学校における読書活動の推進と併せて2本の柱として、幼児から小中学校まで継続した体制で読書環境の整備に取り組んでいきます。

重点1 家庭における読書活動の推進

重点取組① ブックスタート事業の充実

現在、市内6カ所で行われるBCG接種の際に、BCG接種児にブックスタートパックを配付しています。

保護者に幼児期からの読み聞かせの意義などを知ってもらうとともに、家庭での読書環境整備の手立てとします。

重点取組② 幼児期における読書活動啓発事業の充実

健康福祉センター等で実施している3歳児健康診査の際に、受診に訪れた保護者に子ども向けの図書館案内と幼稚園・保育園向けのブックリストを手渡します。

ブックスタートにより生まれた子どもの本への興味を繋げていき、家庭での読書を積極的に推進します。

重点取組③ 保護者向け読み聞かせ講座の実施

市立図書館で実施している親子で参加するおはなし会の際に、家庭での子どもへの読み聞かせの大切さを伝えるとともに、読み聞かせに適した絵本や、子どもの喜ぶ本のアドバイスをを行います。

重点取組④ 親子で楽しめる読書活動啓発イベントの充実

市立図書館で実施している子どもが本に親しむ事業を充実させ、親子でイベントを楽しむことで、自然に読書に興味を持つ子どもを増やす手立てとします。

重点2 小中学校における読書活動の推進

重点取組① 魅力ある学校図書館づくり

「読書センター」としての機能、「学習センター」としての機能を十分に併せ持ち、利用しやすく、子どもたちが行ってみたいと思う、魅力ある学校図書館づくりを目指します。

そのために、資料の充実、所蔵図書の整理、分かりやすい配架を推進し、併せて蔵書のデータ化を検討します。また、学校司書や司書教諭が中心となって活動できる体制づくりに取り組みます。

重点取組② 読書習慣を確立するための読書活動の推進

学校は全ての子どもたちが、それぞれの環境の違いにとらわれることなく読書習慣を身に付けることができます。

そのために、「読書の時間」の設定等の取組を推進し、子どもが日常的に本に触れる機会づくりを目指します。

重点取組③ 学校図書館に関わる職員に対する研修の充実

学校では、学校司書・司書教諭・学校図書館ボランティア等、さまざまな人が学校図書館での取組を行っています。これら、学校図書館に関わる職員に対する研修を充実させ、そのことによって学校図書館の機能が向上することを目指します。

重点取組④ 学校と市立図書館の連携強化

学校における読書活動の推進に、市立図書館資料をより活用できるよう、学校司書や教員の声聞きながら、学校と市立図書館との連携強化を目指します。

また、市立図書館資料を学校教育で活用するために、学校と市立図書館を結ぶ図書配送便の検討等、ハード面での連携強化を図ります。

第5章 第3次計画の推進に向けて

1 成果指標

本計画の推進にあたり、子どもの読書活動が効果的に推進されているかを、客観的に測るため、次のとおり指標を設定します。

	指 標	単 位	現 状 値 28 年度 (2016 年度)	目 標 33 年度 (2021 年度)	指標および目標値 設定理由	
1	1 カ月間の 平均読書冊数	小学生	冊	7.5	9.8	計画全体の効果を図る指標として設定するものです。 1. 平均読書冊数については、第2次計画期間に横須賀市の平均読書冊数が小学生は約5割、中学生は約3割伸びていることから、小中学生とも、さらに3割増を目指します。 2. 1カ月に1冊以上読む子どもの割合については、小学生については学校読書調査の全国平均値を、中学生については18年度から28年度の最高値への回復を目指します。
		中学生	冊	3.9	5.1	
2	1カ月に1冊 以上本を読む 子どもの割合	小学生	%	88.9	96.0	
		中学生	%	58.1	72.0	
3	市立図書館における 児童書の貸出冊数	冊	459,616	488,000	子ども読書活動推進の指標として設定するものです。 3. 市立図書館の児童書貸出冊数は、少子化が進む中、第2次計画実施期間には微増となりました。第3次計画においては、6%の伸びを目指します。	
4	市立図書館の本 を調べ学習等に 活用している学校 の割合	小学校	% (27校/46校)	100 (46校/46校)	重点取組である小中学校の読書環境整備の指標として設定するものです。 4. 市立図書館の本の活用については、市立小中学校の全校で実施されることを目指します。 5. 学校図書館については、子どもが行ける時間帯に学校図書館が常に開いている学校を増やしていきます。	
		中学校	% (4校/23校)	100 (23校/23校)		
5	子どもが行ける 時間帯には学校 図書館が常に開 いている学校の 割合	小学校	% (37校/46校)	100 (46校/46校)		
		中学校	% (1校/23校)	34.8 (8校/23校)		

※家庭における子どもの読書活動の指標については、保護者にアンケートを実施すること等により、設定する予定です。

2 進行管理

各事業の実施状況について、自己評価を行うとともに、毎年、社会教育委員会議への報告を行い、いただいたご意見については、計画の進行や見直し等に生かしていきます。